

作文部門へのたくさんの応募ありがとうございます。多くの作品が実生活の一場面に見られるお米とのかかわりから書かれていました。やはり実体験について書かれた作品は説得力があります。「パソコンで調べてみました」だけじゃなく、それをもとに自分で体験に移すことが大切です。

今年度の作品は、日々の手伝い、祖父母の米作りから、日本にいながら世界を感じられるものと興味深い内容が多かったように思います。つまり、このコンクールは参加することによってお米について改めて考えることから社会との関連を考える機会になっているのだと思います。

作文は自分の感動を伝えるものですので、自分の心が大きく動いた場面が重要です。その出来事については詳しい描写があるとさらに読み手に伝わることでしょう。

その点で今年度の作品は、「よし！この後、どうなるのかな？」と読み進めていくと、突然、終わってしまう作品が多かったため、もったいないという印象です。

最後にお米のみならず、自分を取り巻く人々への感謝の気持ちを素直に表現している作品がたくさんありました。今回この作品を書き上げることで改めて気づけたのではないのでしょうか。